

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用目的及び利用方法	●研究の名称 肺神経内分泌がんに対するプラチナ＋エトポシド療法における filgrastim 一次予防の有用性についての後ろ向き研究
	●研究の対象 2000 年 1 月～2020 年 8 月末までに、当院で肺神経内分泌がんに対して初回の抗癌剤治療を受けた患者
	●研究の目的 顆粒球コロニー刺激因子(granulocyte-colony stimulating factor : G-CSF) は、抗癌剤投与時の発熱性好中球減少症の一次予防または二次予防目的に支持療法として投与されます。代表薬として filgrastim があり、2014 年からは持続型 G-CSF として pegfilgrastim 単回投与が認可され使用されています。非小細胞肺癌で特定の抗癌剤投与時の一次予防としてのこれら G-CSF 製剤の有用性が示されていますが、肺神経内分泌がんに対する抗癌剤投与における一次予防投与の有用性は明らかではありません。本研究では、過去の診療録を参照し、G-CSF 製剤の一次予防投与の有用性を明らかにすることを目的とします。
	●研究の期間 研究機関の長による実施承認日から 2025 年 10 月まで。
	●他の機関に提供する場合には、その方法 該当はありません。
利用し、又は提供する試料・情報の項目	●研究に使用する試料・情報 試料：ありません。 情報：病歴、治療内容、血液検査結果、画像検査結果 等

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

利用する者の範囲	●機関名および責任者名 浜松医科大学 内科学第二講座 須田隆文
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	浜松医科大学 内科学第二講座 須田隆文
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）	あなたの情報を研究に使用することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールをお願いします。
資料の入手または閲覧	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
情報の開示	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
問い合わせ先	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目20番1号 浜松医科大学 部署名： 浜松医科大学 内科学第二講座 担当者： 渡邊 裕文

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

	TEL : 054-435-2263 E-mail : whiro@hama-med.ac.jp
--	--